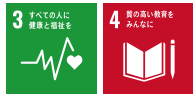


要請番号 (JL61822B12)

募集終了



| 国名 | 職種コード 職種 | 年齢制限 | 活動形態 | 区分 | 派遣期間 | 派遣隊次 |
|--------|----------|------|------|----|------|----------------------------|
| マダガスカル | G119 卓球 | | 個別 | 新規 | 2年 | ・ 2023/3 ・ 2023/4 ・ 2024/1 |

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

青年・スポーツ省

2) 配属機関名 (日本語)

マダガスカル卓球連盟

3) 任地 (アナマング 県アンタナリボ レニヴ イャ郡アンタナリボ 市) JICA事務所の所在地 (アンタナリボ)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (徒歩 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は当国の卓球の普及と発展のために1959年に設立され、青年・スポーツ省、国際オリンピック委員会、国際卓球連盟から認可されている。国内競技人口は、約800名で、そのうち連盟に登録しているのは350名。残り450名は愛好家としてプレーしている。全国に10リーグ・43クラブあり、最も活発な首都のあるアナラマンガ県には11クラブ(約180名)が登録している。コロナ禍で長く中断していたが、2022年6月に久々に国内選手権が開催された。配属先年間予算は約500万円だが、選手権開催の際は、政府からの補助金や民間企業のスポンサーが付く。2023年7月頃に、インド洋選手権がマダガスカルで開催予定。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

当国では、レジャー施設等で卓球台は見かけるものの、遊びとしてプレーする人が多く、スポーツとしての認知度はまだ低い。それでも、350名ものプレーヤーが連盟に登録しているように競技人口は十分にあり、2022年12月には連盟の事務所と卓球専用練習場が、国立マハマシナ競技場(サッカー国際試合や各種式典が開催される競技場)内に整備される予定である。連盟は、2024年パリオリンピック出場という目標に向けて、昨今国際大会で好成績を残す日本チームに着目し、ナショナルチームの強化及び卓球の普及に貢献する隊員の要望があり、本要請に至った。国際大会(シニア)では、2017年東アフリカ選手権2位(現在もアフリカランキングトップ20)になった選手がいる。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

卓球連盟関係者と協力しながら、以下の活動を行う

- 連盟強化部長及び指導者と共に、ナショナルチームの強化支援を実施する。
- 連盟や各クラブの指導者に対し、指導法や各種トレーニングの助言を行う。
- 市内クラブにおいて、卓球を学ぶ5〜20才の青少年および初心者への大人への卓球の基本技術を指導する。
- 地方巡回などを行い、国内の卓球の普及に貢献する。卓球を通して、健全な青少年育成に貢献する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

専用練習場、体育館、市内クラブにある卓球台、サポート、ネット、ボール、ラケット

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:卓球連盟長 男性 40代、連盟技術部長 男性 40代(自身が国内チャンピオン)、他5名の指導者

活動対象者:各クラブ: 10〜50人、ナショナルチーム(ジュニア約20名、シニア約30名)

5) 活動使用言語

マダガスカル語

6) 生活使用言語

マダガスカル語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（競技経験）10年以上 備考：指導に経験が必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（温暖冬季少雨気候） 気温：（5～30℃位） [電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可） [水源]：（安定）

【特記事項】

- ・派遣前語学訓練では公文書等で使用されるフランス語、現地語学訓練ではマダガスカル語を学習する(共に公用語)。
- ・同任地には、柔道連盟とラグビー連盟に隊員が派遣されている。
- ・2023年10月に当国大統領選が予定されており、2023-3次隊の出発時期は、遅れる可能性あり。

【類似職種】